

# 市民ネットワーク 市議会速報

2020年  
10月5日発行

連絡先：さくら・市民ネットワーク  
電話：043-462-0618  
FAX：043-489-0797  
メール：news@sakura-siminnet.com

会派 市民ネットワーク  
川口えみ 松島こずえ 五十嵐ともみ



## 新佐倉図書館 不祥事発覚！

37億5000万円もの（仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設建設事業。市民の意見を無視した地下図書館は、災害時に避難しづらく危ないと反対してきました。しかし計画は進み、9月4日、前田建設工業が建設工事を落札しました。

### ●前田建設の不祥事発覚

9月7日、前田建設が17年前、学校の壁内に有害ガス発生の恐れのある石膏ボードの廃材を、大量に隠蔽していたとの報道がありました。これは産業廃棄物処理法違反です。産廃物を適切に処理する責任は施工・監理者にあります。

9月14日の市議会閉会まで、市は何の調査もしませんでした。このままでは不正・欠陥工事の可能性があります。安心できません。

### ●わずか1時間で議決

そんな中、閉会日に市は新佐倉図書館建設工事の議案を上程し、即日採決となりました。市長は計画を見直す気がないと答弁。市は

適切に入札が行われたと繰り返すのみ。

落札後は仮契約ですが、議会で可決されると本契約になってしまいます。議員の責任は重大です。私たちは法令違反の業者との契約は無効にすべきと、様々な質疑・討論を行いました。しかし、17名の議員は質疑も討論も行わず賛成し、多数で可決されてしまいました。

### ●市民の反対運動も継続中

住民監査請求を経て、9月4日住民訴訟が起こされました。図書館建設反対の署名を10月末まで集めています。市民ネットにお問い合わせください。



前田建設問題で駅頭のチラシまきと署名活動

## PCR検査 拡大を

### ●現在のPCR検査体制

現在佐倉市では、保健所と、印旛市郡医師会のPCR検査（行政検査：無料）を実施しています。この検査は、感染疑いのある人と濃厚接触者しか受けられません。

8月厚労省の通知で医療施設、介護施設等は行政検査するとのことですが、市の施設・学校・保育園・幼稚園の職員や入所者、児童生徒・園児を対象に一斉PCR検査を無料で実施することを提案しました。

### ●感染疑いの子どもは検査可能に

市は感染防止が十分にできない子どもに対し、濃厚接触者でなくても検査を受けられるよう市独自の検査予算として今議会で2475万円（約750人分）を計上。今後も無料の行政検査の拡充を求めています。

八千代市ではコロナ禍で市庁舎の建設を凍結し、コロナ対応を優先しました。佐倉市も新図書館建設費用をコロナ対策に充てるべきです。

## 9月市議会の採択結果

議案 / 意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明	自民 さくら	共産	オンス ひまわり会	無会派		
議案21号 新佐倉図書館建設工事の請負契約(前田建設)	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×
コロナ対策のための議員報酬・期末手当の10%削減	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
コロナ感染症対策及び地域経済や住民生活支援のための基金創設	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
★PCR検査に関し、無料で「いつでも、誰でも、何度でも」受けられる体制を構築し、併せて社会的検査の普及を強く求める意見書	×	○	×	×	×	○	藤崎 宇田 ○ ×	○	×	○
★六ヶ所再処理工場の稼働中止と核燃料サイクル政策の破棄を求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×
★印は、市民ネットワーク提出 (敬称略) さくら・市民ネットワーク通信は11月15日発行予定		五十嵐 川口 松島	中村、櫻井、石渡、平野、高木、敷根、岡野、密本、齋藤(明)	岡村、久野、鍋田、押木	山本、徳永、石井、齋藤	萩原、木崎	藤崎、宇田	稲田	高橋	玉城

## 令和元年度決算に反対 問題あり!

◆学童保育所の指定管理が始まって7年目になります。子どもたちや保護者、現場の指導員の声が市に届きにくく、いろいろな弊害が出ています。「指定管理になってから、市の職員が現場を知らない状況がある」と市は答弁しており、やはり直営に戻すべきです。◆学校用務員は委託となっているので、学校側から直接用務員に仕事を依頼すると偽装請負になります。災害等の緊急時でも、学校用務員は委託先の会社から指示を受けないと対応できないため、直接雇用に戻すべきです。◆昨年の台風15号と10月25日豪雨の市の検証が不十分です。避難所・停電・風水害などもっとしっかり課題を検証すべきです。さらに避難所のコロナ対策も今後の課題です。◆街路樹対策について、伸びたままの樹木が多く、市に聞き取りをしたところ、高木の剪定予算が計上されていないことが発覚! 災害時、倒木の危険性がある高木の定期的な剪定の計画と予算が必要です。早急な対応を求めました。



## コミュニティバスの割引制度が拡大されます

コミュニティバスの新たな割引制度が、2021年1月1日から導入されます。

●1年以内の運転免許自主返納者は、1年間の無料パスを申請できます。

以下を提示すると、乗車料金200円が100円に!

- 運転経歴証明書
- 後期高齢者被保険者証
- チーパス(子育て家庭優待カード)



7月には新ルート

「飯重・寺崎ルート」が運行予定です。

お問合せ: 都市計画課 TEL 043-484-6163

これからもコミバスがもっと使いやすくなるよう、声を上げていきます。

## コロナ対策のための議員報酬10%カット否決!

コロナ感染拡大による影響は、市民生活、地域経済、医療に大きな打撃となっています。

### さくら会からこんな提案が...

さくら会は子どもたちのコロナ感染症対策費として「議員に交付される政務活動費から一人5万円ずつ徴収する」という提案を8月議会に出しました。総額は140万円。視察中止分と合わせると、**532万円**です。しかし、政務活動費は本来、政策を充実させるための調査活動や、議員の資質を高めるための研修などに使う重要な費用です。その削減は議員の活動を狭めることになってしまうため、賛同しませんでした。

### それより議員報酬カットを!

私たちは議員10人で10月~3月までの議員報酬と期末手当の10%カットを提案しました。総額は1097万円です。視察中止分と合わせると、**1489万円**です。

### 同時に基金設立も提案

今後、コロナ感染の第3波が予想される中、長期的なコロナ対策が必要です。そのために一時的な報酬カットだけでなく、継続的に積み立てる基金も新設するよう、提案しました。基金なら誰でも参加できます。

しかし私たちの提案に、さくら会、公明党、自由民主さくらは意見を述べずに反対し、否決されました(詳細は表面の表を参照)。残念な結果になりましたが、これからも市民の声を生かしたコロナ対策を提案していきます。



## 陣痛時の福祉タクシー利用

家族が留守で一人だったら...



昨年6月議会で質問・提案した陣痛時のタクシー利用ができるようになりました。事業者によっては24時間OK、市内全域が対象のところもあります。

現在も個別に案内しているのですが、市は妊婦さんに公表できるよう準備中です。

夜間追加料金や、車椅子利用料金など、詳しくは市にお問い合わせください。

健康増進課 TEL 043-485-6712

## 市民ネットワーク議会報告会のご案内

11月7日(土) 13:30~15:00

スペース結にて(王子台1-26-7)

コロナや新図書館に関する最新情報を報告します。ぜひご参加ください。

ZOOMでの参加もできます。詳細は、HPでお知らせします。